

番号	章	節	基本理念					2021年度	2022年度	2023年度	指標の出典	担当課		
			政策目標											
			重点施策											
主な取り組み名	事業名	指標の項目	単位	基準値	指標	指標	指標							
56	3	1	介護サービスの整備	在宅での暮らしを支えるサービスの整備	認知症対応型共同生活介護の総定員数(事業所数)	総定員数(か所)	423(27)	459(29)	459(29)	495~513(31)	事業の実績を集計	高年齢者支援課(施設)		
57	3	1			小規模多機能型居宅介護の事業所数	か所	9	9	9	10	事業の実績を集計			
58	3	1			看護小規模多機能型居宅介護の事業所数	か所	1	1	1	3	事業の実績を集計			
59	3	1		定期巡回・随時対応型訪問介護看護の事業所数	か所	4	6	6	8	事業の実績を集計				
60	3	1		在宅福祉サービスの実施	事業の周知	回	3	5	6	7	事業の実績を集計		高年齢者支援課(サービス)	
61	3	1			登録者数	人	2,008	2,030	2,060	2,090	事業の実績を集計			
62	3	1		介護人材の確保	介護人材確保対策事業	「柏の〇(わ)」の実施回数	回	実施	実施	実施	実施		事業の実績を集計	高年齢者支援課(施設)
63	3	1				「介護のしごと相談会」の来場者数	人	58	60	70	80		事業の実績を集計	
64	3	1			介護資格取得の受講費用に対する補助	介護職員初任者研修の補助金交付者数	人	14	20	20	20		事業の実績を集計	高年齢者支援課(施設)
65	3	1	介護職員実務者研修の補助金交付者数			人	25	25	30	35	事業の実績を集計			
66	3	1	人手不足でもサービスの質の維持・向上を実現するための介護事業者への支援		補助金等による事業者への支援	-	-	実施	実施	実施	-	高年齢者支援課(施設)		
67	3	1	文書負担削減の取り組み		文書負担削減の取り組み	-	-	-	-	実施	-	指導監査課		
68	3	1	介護関係団体への支援	介護関係団体への支援	-	-	実施	実施	実施	-	高年齢者支援課(施設・計画調整)			
69	3	2	介護保険制度の持続可能性の確保				【アウトカム】要介護度の維持・改善率(80~84歳)	%	67.7	-	69	-	給付適正化システム	高年齢者支援課(計画調整)
70	3	2	介護保険事業の適正な運営	柏市ケアマネジメントに関する基本方針	関係者への周知	-	-	実施	実施	実施	-	高年齢者支援課(サービス)	地域包括支援課	
71	3	2			介護給付の適正化の推進	30日以内に要介護(要支援)認定をする割合	%	33	50	51	52	事業の実績を集計		高年齢者支援課(認定審査)
72	3	2		ケアプラン向上プロジェクト(ケアプラン点検)実施回数	回	27	24	24	24	24	事業の実績を集計	高年齢者支援課(サービス)		
73	3	2		適正化システムを活用した給付分析	定期点検の実施回数	回	1	2	2	2	事業の実績を集計	高年齢者支援課(サービス)		
74	3	2		介護サービス事業所への集団指導の実施	集団指導実施回数	回	1	1	1	1	事業の実績を集計	指導監査課		
75	3	2		介護サービス事業所への個別指導(実地指導)の実施	介護サービス事業所実地指導割合(実地指導件数/事業所数)	%	26.4	17	17	17	事業の実績を集計	指導監査課		
76	3	2		身体拘束の廃止研修の実施	身体的拘束等に係る研修実施回数	回	1	1	1	1	事業の実績を集計	指導監査課		
77	3	2		制度の適切な利用等についての周知啓発	介護保険かんたん手引きの配布数	部数	23,000	23,000	23,000	23,000	事業の実績を集計	高年齢者支援課(計画調整)		
78	3	3		在宅医療・介護の連携の推進				【アウトカム】在宅医療を受けている人の生活満足度	%	62.6	-	-	増加	柏市介護保険利用者アンケート
79	3	3	在宅医療・介護多職種連携の向上	顔の見える関係会議	会議参加により連携しやすくなったと思った医療介護職の割合	%	70	70	75	80	事業の実績を集計	地域医療推進課		
80	3	3		在宅医療推進のための多職種連携研修会	市内の在宅療養支援診療所数	か所	35	35	35	37	事業の実績を集計	地域医療推進課		
81	3	3		他職種とのコミュニケーションが重要だと理解した者	%	-	増	増	増	増	事業の実績を集計			
82	3	3		情報共有システム運用・管理	新規に開設した部屋数	件	89	93	98	103	事業の実績を集計	地域医療推進課		
83	3	3	在宅医療提供体制の整備	訪問看護ステーション基盤強化	訪問看護ステーションに勤務する看護師の常勤換算数	人	5.5	5.5	5.5	5.5	事業の実績を集計	地域医療推進課		
84	3	3		病院と在宅との連携強化研修会	研修会参加後に「在宅医療へのイメージや考え方に変化があった」と回答した病院職員割合	%	70	70	70	70	事業の実績を集計	地域医療推進課		
85	3	3		看取り体制構築に対する支援	看取りを行う施設数	件	17	増加	増加	増加	事業の実績を集計	地域医療推進課		
86	3	3	地域住民への普及啓発	在宅医療啓発事業	通院が困難になった場合に、在宅医療を利用できると知っている市民割合	%	69.7	71	73	75	事業の実績を集計	地域医療推進課		
87	3	3	地域医療拠点(柏地域医療連携センター)の運営	在宅医療相談	相談を解決した割合	%	98.2	100	100	100	事業の実績を集計	地域医療推進課		
88	4	-	意思が尊重され自立して暮らせる				【アウトカム】住んでいる地域に愛着があると答えた人の割合	%	79.0	-	増加	-	健康とくらしの調査	高年齢者支援課(計画調整)
89	4	1	地域包括支援センターの機能強化				【アウトカム】地域包括支援センターの相談や問い合わせへの対応満足度	%	77.3	78	79	80	地域包括支援センター利用者・関係機関アンケート調査	地域包括支援課
90	4	1	総合相談支援機能の充実	介護予防・生活支援サービス事業(介護予防ケアマネジメント)	要支援者等のケアプランへ多様な社会資源の活用を位置づけている割合	%	21.3	24	27	30	事業の実績を集計	地域包括支援課		
91	4	1		総合相談支援業務	相談件数	件	17,614	18,000	18,500	19,000	事業の実績を集計			
92	4	1	地域包括支援センターの活動評価	地域包括支援センター事業評価の実施	事業評価の実施	-	実施	実施	実施	実施	事業の実績を集計	地域包括支援課		
93	4	1	地域包括支援センターの適正配置	地域包括支援センターの適正配置	地域包括支援センター常勤職員数	人	71	73	75	77	事業の実績を集計	地域包括支援課		
94	4	2	権利擁護の充実				【アウトカム】身近な相談相手や相談場所がある人の割合	%	94.3	-	95	-	健康とくらしの調査	地域包括支援課
95	4	2	高齢者虐待防止の相談支援	(仮称)柏市権利擁護ネットワーク高齢者部会運営会議の開催	(仮称)柏市権利擁護ネットワーク高齢者部会の構成団体等	機関・団体	39	39	39	39	事業の実績を集計	地域包括支援課		
96	4	2		地域包括支援センターでの相談・対応	高齢者虐待対応の最終割合	%	50	50	55	55	事業の実績を集計	地域包括支援課		
97	4	2		高齢者緊急一時保護事業	高齢者緊急一時保護件数	件	17	10	10	10	事業の実績を集計	地域包括支援課		
98	4	2	成年後見制度の普及啓発	成年後見制度に関する相談	成年後見に関する相談件数	件	249	270	280	290	事業の実績を集計	地域包括支援課		
99	4	2		市民後見人の育成、活動支援	市民後見人の受任件数	件	7	8	9	10	事業の実績を集計	地域包括支援課		
100	4	2		成年後見制度利用促進のための中核機関の設置	後見人等候補者調整会議の取扱件数(高齢者)	件	27	25	30	30	事業の実績を集計	地域包括支援課		
101	4	2	振り込め詐欺や消費者トラブルの未然防止	防犯講習会実施回数	回	44	50	50	50	50	事業の実績を集計	防災安全課		
102	4	2		60歳以上の高齢者からの消費生活相談件数	件	1,450	1,450	1,450	1,450	1,450	事業の実績を集計	消費者生活センター		
103	4	3	多様な主体との地域づくりの推進				【アウトカム】住んでいる地域に愛着があると答えた人の割合(再掲)	%	79	-	80	-	健康とくらしの調査	高年齢者支援課(計画調整)
104	4	3	超高齢社会のまちづくりモデル	産官学で取り組む先進的なまちづくり	-	-	-	-	-	-	-	健康政策課		
105	4	3	関係団体等との連携体制の整備	生活支援体制を整備するための、多様な組織との連携	支えあい会議の開催数	回	34	20~40	20~40	20~40	事業の実績を集計	地域包括支援課		
106	4	3		地域共生社会の実現	地域いきいきセンターの設置か所数(再掲)	か所	6	8	9	10	事業の実績を集計	柏市社会福祉協議会健康政策課		
107	4	3	都市・交通政策部門との連携	住まいの確保や住まいの選択を支援する体制整備	高齢者人口に対する高齢者向け住宅等の供給割合	%	3.27	3	3	3	事業の実績を集計	住宅政策課		
108	4	3		高齢者の外出や社会参加を促進するためのまちづくり	ノンステップバスの導入率	%	87.1	90	90	90	90	事業の実績を集計	交通政策課	

【政策目標】 健康寿命を延伸し いきいきと暮らせる

【重点施策】 フレイル予防・健康づくりの推進

重点施策名	項目	基準値	指標			
			令和3年度	令和4年度		令和5年度
			実績	指標	実績	指標
フレイル予防・健康づくりの推進	【アウトカム】フレイル予防カードを利用してフレイル予防に取り組む市民の数	2,000 人	17,514	6,000	20,999	8,000

【主な取り組み】 フレイル予防プロジェクト2025の推進

事業名	項目	基準値	指標				令和4年度の実績	令和5年度の取組予定 等	令和4年度の評価	コロナの影響
			令和3年度	令和4年度		令和5年度				
			実績	指標	実績	指標				
フレイル予防プロジェクト2025の推進委員会	フレイルを知っている人(浸透度)の割合	41 %	—	70	56	—	令和4年度も推進委員会を2回開催し、推進委員会として、かしわフレイル予防ポイント制度に登録のある団体の中から特に積極的な団体を認定し、ホームページ上で紹介することで活動を支援した。令和5年度は、新たに構築したフレイル予防に関する取り組みを整理した専用サイトとパンフレットで、フレイル予防の自分ごと化の推進を図る。	○	有	

【主な取り組み】 かしわフレイル予防ポイント制度

事業名	項目	基準値	指標				令和4年度の実績	令和5年度の取組予定 等	令和4年度の評価	コロナの影響
			令和3年度	令和4年度		令和5年度				
			実績	指標	実績	指標				
かしわフレイル予防ポイント	フレイル予防カードを利用してフレイル予防に取り組む市民の数(再掲)	2,000 人	17,514	6,000	20,999	8,000	令和3年度に引き続き、活動団体から希望があれば活動場所に向いて発行する「出張発行」に取り組んだ。また、活動する市民の増加に対応するため、ポイント付与端末を116台追加し、ポイントを付与しやすい環境を整備することで更なる参加希望者の増加を図った。啓発活動においても、市内大型ショッピングセンターでイベントを実施するなど、制度の周知に努めた。令和5年度も、ポイント付与環境の整備と周知啓発に努め、参加希望者の増加を図る。	◎	有	

【主な取り組み】 フレイルチェックを通じたフレイル予防の推進

事業名	項目	基準値	指標				令和4年度の実績	令和5年度の取組予定 等	令和4年度の評価	コロナの影響
			令和3年度	令和4年度		令和5年度				
			実績	指標	実績	指標				
フレイルチェックの普及・啓発	フレイルチェック講座の参加者数	1,050 人	632	1,200	1,157	1,300	新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、フレイルチェック項目の一部を割愛していたが、令和4年度はすべての項目を実施。感染症の流行状況に応じて、フレイルチェックを希望する団体が増え、参加者数が約2倍に増加した。令和5年度もサロンへの積極的な働きかけを通じて、フレイル予防の普及啓発を行う。	○	有	
フレイル予防サポーターの育成・支援	フレイル予防サポーターの活動回数(啓発活動や研修を含む)	61 回	57	85	115	100	令和4年度は、サポーター養成講座を開催し新たに5名のサポーターと、トレーナー3名が誕生した。令和5年度においてもサポーターの養成講座を行い、フレイルチェックの実施体制を整えると共に、サポーター同士が協力しながら、継続的に活動できるよう支援を行う。	◎	有	
住民主体のフレイル予防活動への支援	フレイル予防・健康づくり出前講座の実施回数	105 回	40	150	108	210	地域のサロン等からの申込みにより出前講座を実施。通いの場を中心にフレイルチェック講座の実施について、積極的に働きかけを行った結果、実施件数が大幅に増加した。令和5年度も引き続き、通いの場やサロン等に働きかけていく。	○	有	

【主な取り組み】 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

事業名	項目	基準値	指標				令和4年度の取組状況、令和5年度の取組予定 等	令和4年度の評価	コロナの影響
			令和3年度	令和4年度		令和5年度			
			実績	指標	実績	指標			
各種データ分析・地区診断	各種データ分析・地区診断の実施	— —	実施	実施	実施	実施	KDBデータ等を活用し、高齢者の医療・介護・健診情報から地域の健康課題の分析を行った。顕著な地域差は見られなかったが、地域資源等も併せて地区診断を行い、フレイルの状態に合わせて予防に取り組むモデル地域を選定した。令和4年度は高齢者のフレイル予防活動状況分析と合わせ、モデル地域へのハイリスク者支援を中心に実施した。令和5年度は、引き続きモデル地域へのハイリスク者支援を行いながら効果を確認する。	○	有
生活習慣病の予防及び重症化予防	特定健康診査受診率の向上	42.3 %	43.9	47.5	令和5年11月に確定	48.0	第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）中間評価を令和2年度に行ったことに伴い指標を見直し、令和元年度の特健康診査の受診率の実績（46.8%）に合わせ上方修正をしている。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は42.3%に低下し、令和3年度43.9%と微増する結果となっている。 令和4年度は、集団健康診査の予約数をコロナ禍前の人数まで戻し、受診勧奨通知の内容を見直し、新たに40歳になる方、受診率の低い40から50歳台男性をターゲットとした勧奨通知の他、ITとレセプトデータを活用した対象者の受診状況に沿った通知を送付している。 重症化予防においては、治療中断者及びハイリスク者の医療受診の勧奨事業の他、医療機関の力を活用した糖尿病性腎症重症化予防プログラムを実施した。 令和5年度も上記事業を継続する。その他、市内や民間団体の連携を得ながら、若い世代への健診受診のポピュレーションアプローチを行う。また、組織改編による効果的な運営を検討し受診率の向上を図る。令和4年度の実績数は令和5年11月に確定する。	○	有
医療専門職によるフレイル予防のための相談、支援	医療専門職によるフレイル予防のための相談、支援の実施	— —	実施	実施	実施	実施	フレイルチェック講座及び後期高齢者の健康診査等による質問票により、フレイル傾向の見られるハイリスク者を抽出し、医療専門職による専門的支援を実施した。また、国保加入者を対象に実施していた糖尿病性腎症重症化予防プログラムの対象を高齢者まで広げ実施。令和5年度は、モデル地域における通いの場やサロンへのフレイル予防講座を行い、支援が必要な方を専門職支援につなげる。	○	有

【政策目標】 健康寿命を延伸し いきいきと暮らせる

【重点施策】 多様な社会参加の促進

重点施策名	項目	基準値	指標			
			令和3年度	令和4年度		令和5年度
			実績	指標	実績	指標
多様な社会参加の促進	【アウトカム】友人・知人と会う頻度が高い（月に1回以上の）人の割合	69 %	—	70	61.5	—

【主な取り組み】 高齢者就労・社会参加の拡充

事業名	項目	基準値	指標				令和4年度の実績状況、令和5年度の実績予定等	令和4年度の評価	コロナの影響
			令和3年度	令和4年度		令和5年度			
			実績	指標	実績	指標			
生涯現役促進協議会の運営	生涯現役促進協議会による求人開拓件数	260 件	141	200	192	200	コロナウイルスの影響はあるが、令和3年度と比べると指標近くまで獲得することができた。引き続き、多様な求人票の獲得に努めていく。 セミナーについては、参加者の要望・希望に添えることができるよう、アンケート集約・振り返りなどを行い、次回セミナーへ反映させた。令和5年度は実施時期の見直しも含めて、参加者の期待に応えるセミナー開催を目指す。また、セミナー終了後の参加者へのフォローアップも継続し、高い満足度が得られるよう内容の充実を図る。	○	有
	生涯現役促進協議会実施事業（セミナー、窓口）利用者満足度	90 %	92.6	90	94	90			

【主な取り組み】 地域でのボランティア活動の推進

事業名	項目	基準値	指標				令和4年度の実績状況、令和5年度の実績予定等	令和4年度の評価	コロナの影響
			令和3年度	令和4年度		令和5年度			
			実績	指標	実績	指標			
地域でのボランティア活動の推進	月に1回以上ボランティアに参加する割合	13 %	—	14	12.6	—	コロナ禍で思うように活動できないことから解散する団体が増えた。その反面、新規登録する団体も一定数あり、登録団体の大幅な減にはなっていない。各種講座への参加希望者は増えたとおり、個人登録者も増えた。令和5年度はボランティア活動や各種講座への参加希望者が見込まれるため、機会を逃さず個人ボランティアの増を目指す。	○	有
	ボランティアセンターへのボランティアの登録者数	3,842 人	3,255	3,990	3,285	4,030			
地域いきいきセンター運営・整備事業	地域いきいきセンターの設置か所数	7 か所	8	9	9	10	令和4年11月、市内9カ所目の増尾地域いきいきセンターを開所した。また令和5年度の新田原地域での新規開設に向けて、地域及び関係機関と調整を図り準備を進めた。令和6年度以降の開設候補地について、柏市関係課との打ち合わせを実施した。令和5年度は、10カ所目のセンター開設の準備を引き続き進めるとともに、令和6年度新規開設に向けた調整を進める予定となっている。	○	

【主な取り組み】 多様な居場所の創出

事業名	項目	基準値	指標				令和4年度の実績状況、令和5年度の実績予定等	令和4年度の評価	コロナの影響
			令和3年度	令和4年度		令和5年度			
			実績	指標	実績	指標			
通いの場等の運営支援	通いの場の数	26 か所	20	41	21	46	コロナ禍のため、指標には届かなかったものの新たに1か所の通いの場が立ち上がった。支えあい推進員が地域のニーズに応え、担い手の確保や活動場所の整備、コロナ禍での運営方法の助言など、多方面の働きかけにより後方支援を行った。令和5年度においては、これらの住民主体の多様な居場所等に関する情報の発信に努める。	△	有
老人福祉センターの管理運営	利用人数	109,000 人	58,393	109,000	71,446	100,000	新型コロナウイルスの影響が根深く、従来の利用状況を取り戻せていないが、徐々に以前の水準に戻りつつある。感染対策として、状況に応じたマスク着用の呼びかけ、利用者の体温測定、館内の消毒等を行ってきた。令和5年度も新型コロナウイルス対策を取りつつ、利用者増加に繋げたい。	○	有
高齢者団体への支援	団体数	91 団体	74	90	73	90	高齢者のライフスタイルも個々に変化しているため、地域活動団体に所属して行動することが、現代の高齢者のあり方に則していないのかもしれない。柏市シニアクラブ連合会も努力していただいているが、なかなか増加には転じない。令和5年度は、コロナ禍で中止していた行事を再開する予定であり、活動の活性化に向けて支援していく。	△	

【政策目標】 助けが必要でも住み慣れた地域で安心して暮らせる

【重点施策】 地域での支えあい体制の推進

重点施策名	項目	基準値	指標			
			令和3年度	令和4年度		令和5年度
			実績	指標	実績	指標
地域での支えあい体制の推進	【アウトカム】近所での助け合い、地域での見守りがあると感じる人の割合	69 %	—	75	—	—

【主な取り組み】 生活支援体制の充実

事業名	項目	基準値	指標				令和4年度の実績状況、令和5年度の実績予定等	令和4年度の評価	コロナの影響
			令和3年度	令和4年度		令和5年度			
			実績	指標	実績	指標			
支えあい会議の効果的な実施	支えあい会議への参加者数(延べ件数)	760 人	267	600~1,000	480	600~1,000	コロナ禍のため、Web会議や少人数のコア会議とするなど、地域により工夫がなされたが、多くの地域で会議が開催できなかった。令和5年度においては、支援ニーズや支えあいの体制に合わせ効果的な開催を目指す。	△	有
たすけあいサービス団体の支援	たすけあい活動団体数	67 か所	73	71	73	74	現在活動中のたすけあい団体は、概ね円滑に活動できた。令和5年度においても個々の困り事へ十分対応できるよう支援する。	◎	有

【主な取り組み】 多様な居場所への参加促進

事業名	項目	基準値	指標				令和4年度の実績状況、令和5年度の実績予定等	令和4年度の評価	コロナの影響
			令和3年度	令和4年度		令和5年度			
			実績	指標	実績	指標			
通いの場等の運営支援	通いの場の数(再掲)	26 か所	20	41	21	46	コロナ禍のため指標に届かなかったものの、通いの場によって屋外にて多様なイベントを実施するなど、企画を通じて新たな参加者の増加につながる取り組みがなされた。令和5年度においては、これらの住民主体の多様な居場所等に関する情報の発信に努める。	△	有
フレイル予防ポイント制度を活用した地域の多様な関係者との連携	フレイル予防ポイント対象事業数の増加	120 か所	346	160	506	180	対象事業数の増加に対応するため、ポイント付与端末を116台追加し、ポイントを付与しやすい環境を整備することで更なる対象事業数の増加を図った。令和5年度は、公共施設に配置している貸出用端末の適正配置数を見直すなど、引き続き活動しやすい環境を整備する。	◎	有

【主な取り組み】 見守り体制の充実

事業名	項目	基準値	指標				令和4年度の実績状況、令和5年度の実績予定等	令和4年度の評価	コロナの影響
			令和3年度	令和4年度		令和5年度			
			実績	指標	実績	指標			
柏市防災福祉K-Netの支援体制の構築	K-Net名簿の提供率	93 %	93	94	94	95	令和4年度は、引き続き避難行動要支援者名簿の管理(申請受理・死亡等の情報更新)を行い、名簿記載者のうち平時からの情報提供に同意された者を取りまとめた「防災福祉K-Net名簿」を町会等へ提供し、希望された町会等の団体を対象とした出前講座によりK-Net概要説明や先進事例紹介などを行った。また、新規避難行動要支援者の抽出及び登録勸奨通知の発送を行い、防災福祉K-Net制度の周知及び登録者の増加に努めた。令和5年度は、町会等における支援体制の構築支援のため、制度説明会の手法拡充等を検討していく。	○	有
	支援体制の構築	68 %	74	68	79	69			
見守りネットワーク事業	協定締結事業者数	17 事業者	20	23	23	26	令和4年度は15件の通報対応を行い、必要に応じ適切な福祉サービスに繋げた。加えて、新たに3事業者と協定を締結した。令和5年度は、協定締結事業者数が充実してきたため、現協定締結事業者に向けて事業の理解促進や事案発生時に適切な対応をとることができるよう周知啓発を行っていく。	○	有

【主な取り組み】 相談機関の整備

事業名	項目	基準値	指標				令和4年度の取組状況, 令和5年度の取組予定 等	令和4年度の評価	コロナの影響
			令和3年度	令和4年度		令和5年度			
			実績	指標	実績	指標			
福祉総合相談窓口（断らない総合相談窓口）の設置	福祉総合相談窓口の実施	—	実施	実施	実施	実施	ラコルタ柏1階に窓口を開設している。令和4年度の総合相談における受付件数（困窮は除く）は2,074件であり、福祉分野と福祉分野以外の複雑・複合化した相談が増加している。令和5年度以降も引続き属性にとられない相談を受け付け、相談の入口を強化するとともに、かしまる（重層的支援体制整備事業）とも連携して、一体的な支援を実施していく。	○	
地域いきいきセンター運営・整備事業（再掲）	地域いきいきセンターの設置か所数（再掲）	7 か所	8	9	9	10	令和4年11月、市内9カ所目の増尾地域いきいきセンターを開所した。また令和5年度の新田原地域での新規開設に向けて、地域及び関係機関と調整を図り準備を進めた。令和6年度以降の開設候補地について、柏市関係課との打ち合わせを実施した。令和5年度は、10カ所目のセンター開設の準備を引き続き進めるとともに、令和6年度新規開設に向けた調整を進める予定となっている。	○	

【政策目標】 助けが必要でも住み慣れた地域で安心して暮らせる

【重点施策】 多様な生活支援ニーズに対する支援

重点施策名	項目	基準値	指標			
			令和3年度	令和4年度		令和5年度
			実績	指標	実績	指標
多様な生活支援ニーズに対する支援	【アウトカム】在宅での暮らしを支援する介護サービスが充実していると感じる人の割合	31 %	35 (令和2年度実績)	45	令和5年6月頃集計予定	47

令和2年度柏市まちづくり推進のための調査より入力
(令和3年度は調査なし)

【主な取り組み】 多様な生活支援サービスの把握と情報の発信

事業名	項目	基準値	指標				令和4年度の実績状況、令和5年度の実績予定 等	令和4年度の評価	コロナの影響
			令和3年度	令和4年度		令和5年度			
			実績	指標	実績	指標			
サービス利用状況や事業者情報の把握と発信	サービス利用件数(延べ)	32,335 件	32,081	37,736	34,115	39,626	令和4年度の実績状況、令和5年度の実績予定 等	○	有

コロナ禍のため、サービスの利用控えが生じていたが、年度後半にかけて利用件数の増加がみられた。令和5年度においても、必要なサービスが利用できるよう市民や地域包括支援センター、関係者に対する周知を図る。

【主な取り組み】 介護支援専門員による効果的なケアマネジメントへの支援

事業名	項目	基準値	指標				令和4年度の実績状況、令和5年度の実績予定 等	令和4年度の評価	コロナの影響
			令和3年度	令和4年度		令和5年度			
			実績	指標	実績	指標			
地区別研修会・介護予防ケアマネジメント研修会・主任介護支援専門員研修会の実施	地区別研修会の参加者アンケート「理解した」割合	— %	96	80	95	80	<ul style="list-style-type: none"> 市内12か所の地域包括支援センターでは合計27回(複数センター合同での回数含む)の地区別研修会を実施した。 介護予防ケアマネジメント研修会を年1回実施。地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所の介護支援専門員計181人が参加した。本人が望む生活の実現に向けて、適切なアセスメントの実施方法について学びケアマネジメントの質の向上を図った。 主任介護支援専門員研修会を年1回実施。複合化する課題を導くための主任介護専門員に必要なソーシャルケアマネジメントについて研修を行い技術向上を図った。 令和5年度も介護予防ケアマネジメント研修会等を実施し、効果的なケアマネジメントを支援する。 	◎	有
	介護予防ケアマネジメント研修会の実施	1 回	1	1	1	1			
	主任介護支援専門員研修会の実施	1 回	1	1	1	1			
柏市介護支援専門員協議会への支援	自立支援及び重度化防止のための啓発	1 回	1	1	1	1	4月の柏市介護支援専門員協議会総会において、柏市ケアマネジメントに関する基本方針を周知し、重度化防止に向けた考え方を共有した。同基本方針は、市ホームページやカシワネットにも掲載している。令和5年度も引き続き、周知啓発を図っていく。	○	

【政策目標】 助けが必要でも住み慣れた地域で安心して暮らせる

【重点施策】 認知症施策の推進

重点施策名	項目	基準値	指標			
			令和3年度	令和4年度		令和5年度
			実績	指標	実績	指標
認知症施策の推進	【アウトカム】認知症の相談先を知っている人の割合	47 %	—	50	44.5	—

【主な取り組み】 認知症の正しい知識と理解の普及・啓発

事業名	項目	基準値	指標				令和4年度の実績状況、令和5年度の実績予定等	令和4年度の評価	コロナの影響
			令和3年度	令和4年度		令和5年度			
			実績	指標	実績	指標			
認知症サポーター養成講座	認知症サポーター養成講座受講者数（累計）	29,972 人	34,550	36,000	36,405	39,000	令和4年度はコロナの影響により、キャンセルや延期になった講座もあった。地域包括支援センターと連携のもと、中学校等、多世代向けの啓発を重点的に行い、受講者数を増加させることができた。令和5年度も地域包括支援センターと連携し、市民に限らず民間事業者への働きかけにより、認知症サポーターを増やし認知症の理解促進を図る。	◎	有
かしわ認知症対応ガイドブックの活用による普及啓発	かしわ認知症対応ガイドブック配布数（累計）	15,026 部	18,514	20,000	21,161	22,500	市内12か所の地域包括支援センター、1か所の相談窓口、ラコルタ柏1階に配架、認知症の相談時や認知症サポーター養成講座の参加者に配布。また、ラコルタ柏フェスティバルの地域包括支援課ブースにも配架し、認知症の普及啓発を行った。令和5年度においても、様々な機会を捉えて、多くの市民に配布することで認知症の理解促進を図る。	◎	

【主な取り組み】 予防（認知症になるのを遅らせる、認知症になっても進行を緩やかにする）

事業名	項目	基準値	指標				令和4年度の実績状況、令和5年度の実績予定等	令和4年度の評価	コロナの影響
			令和3年度	令和4年度		令和5年度			
			実績	指標	実績	指標			
生活習慣病の予防や社会参加の促進に関する取り組み	通いの場の数（再掲）	26 か所	20	41	21	46	コロナ禍のため、指標に届かなかった。しかし、通いの場に参加することで支援者と参加者が顔見知りとなり、心身の変化に気付くことで、ゆるやかな見守りの機会のひとつとなっている。令和5年度においては、住民主体の多様な居場所等に関する機能や参加する利点など情報の発信に努める。	△	有

【主な取り組み】 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援

事業名	項目	基準値	指標				令和4年度の実績状況、令和5年度の実績予定等	令和4年度の評価	コロナの影響
			令和3年度	令和4年度		令和5年度			
			実績	指標	実績	指標			
認知症初期集中支援チームによる支援	認知症初期集中支援チーム数	1 か所	1	1	1	1	認知症初期集中支援チームを認知症疾患医療センターに委託することで、双方の部門が一体的に対応でき、医療につながっていない事案に対し、迅速に鑑別診断が行える体制となっている。チーム員会議において、支援方針に対し医師から助言をもらい、地域包括支援センターとチーム員が役割分担を行い、連携をとりながら、ケース支援にあたっている。令和5年度も認知症疾患医療センター、地域包括支援センター等関係機関と連携をとり、速やかに適切な医療が受けられる初期の対応を目指す。	○	
認知症カフェの開催・支援	認知症カフェ参加者満足度	78 %	82.8	78	82.9	78	地域包括支援センターにおいて、認知症当事者及びその家族が心地よく過ごせる居場所づくりや他者との交流を目的としたカフェを年60回開催できた。令和5年度も、新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら取り組んでいく。	◎	有
認知症相談支援体制の充実	認知症相談件数（延べ）	1,199 件	1,205	1,260	1,301	1,290	全地域包括支援センターに認知症の人やその周囲の人の相談窓口として、認知症地域支援推進員を配置し、認知症に関する相談を広く受け付けられる体制をとっている。また、地域包括支援センターと居宅介護支援事業所、介護サービス事業所等が連携することで、認知症の早期発見に努めるなど効果的な支援を行った。令和5年度も、引き続き取り組んでいく。	◎	有

【主な取り組み】 認知症バリアフリーの推進

事業名	項目	基準値	指標				令和4年度の実績状況、令和5年度の実績予定 等	令和4年度の評価	コロナの影響
			令和3年度	令和4年度		令和5年度			
			実績	指標	実績	指標			
かしわオレンジSOSネットワーク事業	かしわオレンジSOSネットワーク協力事業所数（累計）	70 事業所	124	100	138	110	認知症サポーター養成講座の周知とあわせて、各地域包括支援センターより市内事業所に対し、積極的に働きかけた。その結果、指標を上回る事業所に協力が依頼できた。令和5年度も引き続き取り組むことで、協力事業者の増加に努める。	◎	

【政策目標】 介護度が重度であっても望む暮らしを選択できる

【重点施策】 介護サービス等の基盤整備

重点施策名	項目	基準値	指標			
			令和3年度	令和4年度		令和5年度
			実績	指標	実績	指標
介護サービス等の基盤整備	【アウトカム】家族が就労を続けられる割合	85 %	—	87	72.9	—

【主な取り組み】 介護サービスの整備

事業名	項目	基準値	指標				令和4年度の取組状況、令和5年度の取組予定 等	令和4年度の評価	コロナの影響
			令和3年度	令和4年度		令和5年度			
			実績	指標	実績	指標			
施設・居住系介護サービスの公募による整備	介護老人福祉施設の総定員数（施設数）	総定員数 1,515 (24) 所	1,528 (24)	1,628 (25)	1,628 (25)	1,828 (27)	介護老人福祉施設及び特定施設入居者生活介護については、令和3年度に公募で選定した事業者が令和5年度の開設に向け整備を進めている。 認知症対応型共同生活介護の新設整備については、令和4年度に公募により整備・運営を行う2事業者を選定し、令和5年度の開設に向けて整備を進めている。また、認知症対応型共同生活介護の増床整備については、令和4年度に既存施設の事業者へ増床整備の意向調査を実施し、令和5年度は増床整備を行う事業者を決定する予定である。	○	
	介護老人保健施設の総定員数（施設数）	総定員数 920 (9) 所	920 (9)	920 (9)	920 (9)	920 (9)			
	介護医療院の総定員数（施設数）	総定員数 19 (1) 所	19 (1)	19 (1)	19 (1)	19 (1)			
	特定施設入居者生活介護の総定員数（施設数）	総定員数 1,000 (10) 所	1,000 (10)	1,000 (10)	1,000 (10)	1,100 (11)			
	認知症対応型共同生活介護の総定員数（事業所数）	総定員数 423 (27) 所	440 (28)	459 (29)	458 (29)	495～513 (31)			
在宅での暮らしを支えるサービスの整備	小規模多機能型居宅介護の事業所数	9 所	9	9	9	10	定期巡回・随時対応型訪問介護看護については、令和4年度に公募により新設整備を行う1事業者を選定し、令和5年度の開設に向けて整備を進めている。 令和5年度は、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護の整備・運営事業者を選定する公募スケジュール等を検討し、公募を行う予定である。	○	
	看護小規模多機能型居宅介護の事業所数	1 所	1	1	1	3			
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護の事業所数	4 所	4	6	4	8			
在宅福祉サービスの実施	事業の周知	3 回	3	6	3	7	出前講座等で事業の周知を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響で実施回数が低かった。 登録者数では、緊急通報システム、介護給付（紙おむつ）の登録者数が増加した。	△	有
	登録者数	2,008 人	2,057	2,060	2,170	2,090			

【主な取り組み】 介護人材の確保

事業名	項目	基準値	指標				令和4年度の取組状況、令和5年度の取組予定 等	令和4年度の評価	コロナの影響
			令和3年度	令和4年度		令和5年度			
			実績	指標	実績	指標			
介護人材確保対策事業	「柏の〇（わ）」の実施回数	実施 回	未実施	実施	実施	実施	「柏の〇（わ）」については、令和5年2月に介護施設等の若手職員を中心とした交流・研修会を開催した。令和5年度は、開催内容や時期等について事業者団体と協議を行い、開催に向けて準備を進める。「介護のしごと相談会」については、令和4年10月に実施し、指標を上回る来場者数であった。令和5年度は、10月の開催に向け準備を進めるとともに、引き続き、効果的な周知方法を検討していく。	○	
	「介護のしごと相談会」の来場者数	58 人	106	70	108	80			
介護資格取得の受講費用に対する補助	介護職員初任者研修の補助金交付者数	14 人	24	20	49	20	令和4年度の介護職員初任者研修及び介護職員実務者研修の補助金交付者数は、事業者丁寧に周知等を行い、指標を上回る結果となった。令和5年度は、申請者の利便性向上のため手続き方法の簡素化を検討する。	○	
	介護職員実務者研修の補助金交付者数	25 人	36	30	59	35			
人手不足でもサービスの質の維持・向上を実現するための介護事業者への支援	補助金等による事業者への支援	— —	実施	実施	実施	実施	介護サービス事業所の職員が陽性者や濃厚接触者になった場合等に利用者に継続して介護サービスを提供できるよう協力金の支援を行った。また、介護現場の業務改善を支援するため、事業者の管理者・ミドルリーダー向けのセミナーを開催し、モデル施設1施設に対して専門家による伴走支援を行った。令和5年度は、モデル施設での業務改善の成果を他の施設にも広げられるよう検討を行う。	○	
文書負担削減の取り組み	文書負担削減の取り組み	— —	—	—	—	実施	厚労省からの通知及び介護分野の文書に係る負担軽減に関する専門委員会の資料等を踏まえながら、令和5年度までに文書削減の取り組みを実施する。	—	
介護関係団体への支援	介護関係団体への支援	— —	実施	実施	実施	実施	令和5年3月に柏市介護サービス事業者協議会主催で「市長 太田和美と一緒に考える これからの福祉」について、市での取組の紹介や今後これからの福祉について講演を行った。	○	

【政策目標】 介護度が重度であっても望む暮らしを選択できる

【重点施策】 介護保険制度の持続可能性の確保

重点施策名	項目	基準値	指標			
			令和3年度	令和4年度		令和5年度
			実績	指標	実績	指標
介護保険制度の持続可能性の確保	【アウトカム】要介護度の維持・改善率（80～84歳）	68 %	—	69	66	—

【主な取り組み】 介護保険事業の適正な運営

事業名	項目	基準値	指標				令和4年度の実績状況、令和5年度の実績予定等	令和4年度の 評価	コロナ の影響
			令和3年度	令和4年度		令和5年度			
			実績	指標	実績	指標			
柏市ケアマネジメントに関する基本方針	関係者への周知	—	実施	実施	実施	実施	○		
介護給付の適正化の推進	30日以内に要介護(要支援)認定をする割合	33 %	17	51	21	52	△	有	
	ケアプラン向上プロジェクト(ケアプラン点検)実施回数	27 回	24	24	16	24	△	有	
適正化システムを活用した給付分析	定期点検の実施回数	1 回	1	2	1	2	△	有	
介護サービス事業所への集団指導の実施	集団指導実施回数	1 回	0	1	1	1	○	有	
介護サービス事業所への個別指導(実地指導)の実施	介護サービス事業所実地指導割合(実地指導件数/事業所数)	26 %	6	17	4	17	—	有	
身体拘束の廃止研修の実施	身体的拘束等に係る研修実施回数	1 回	0	1	0	1	—	有	
制度の適切な利用等についての周知啓発	介護保険かんたん手引きの配布数	23,000 部数	23,000	23,000	23,000	23,000	○		

【政策目標】 介護度が重度であっても望む暮らしを選択できる

【重点施策】 在宅医療・介護の連携の推進

重点施策名	項目	基準値	指標			
			令和3年度	令和4年度		令和5年度
			実績	指標	実績	指標
在宅医療・介護の連携の推進	【アウトカム】在宅医療を受けている人の生活満足度	63 %	—	—	60	増加

【主な取り組み】 在宅医療・介護多職種連携の向上

事業名	項目	基準値	指標				令和4年度の実績状況、令和5年度の実績予定等	令和4年度の評価	コロナの影響
			令和3年度	令和4年度		令和5年度			
			実績	指標	実績	指標			
顔の見える関係会議	会議参加により連携しやすくなったと思った医療介護職の割合	70 %	0	75	83	80	令和4年度はオンラインを活用し、圏域会議を含めて6回開催。参加前・参加後・3か月後に実施したアンケートにより会議の効果を評価し、オンラインでも多職種連携の効果が得られることがわかった。令和5年度も実施方法（オンライン・参集）を検討の上、会議を開催予定。	◎	有
在宅医療推進のための多職種連携研修会	市内の在宅療養支援診療所数	35 か所	31 R4. 2. 1時点	35	36 R5. 3. 1時点	37	新型コロナウイルス感染症のまん延に伴い実施を見合わせていたが、令和4年度は今後の実施に向けて実施方法や内容の検討を行った。令和5年度は参集・オンラインを併用し実施予定。	—	有
	他職種とのコミュニケーションが重要だと理解した者	— %	—	増	—	増			
情報共有システム運用・管理	新規に開設した部屋数	89 件	49	98	56	103	新型コロナウイルス感染症のまん延に伴い、部屋の新規開設数は減少傾向であったが、令和4年度は令和3年度と比較し増加した。また、情報共有システムの運用や管理にあたり、年1回実施している現況確認や個人情報保護研修会では、周知等の工夫において、現況届の回収率が100%、研修会では受講者が令和3年度と比較し増加した。令和5年度は、情報共有システムの評価について検討を行う予定。	△	有

【主な取り組み】 在宅医療提供体制の整備

事業名	項目	基準値	指標				令和4年度の実績状況、令和5年度の実績予定等	令和4年度の評価	コロナの影響
			令和3年度	令和4年度		令和5年度			
			実績	指標	実績	指標			
訪問看護ステーション基盤強化	訪問看護ステーションに勤務する看護師の常勤換算数	6 人	5.87	5.5	6.58	5.5	千葉県の交付金制度を活用し、基盤強化（大規模化等）を図る意欲のある事業所への支援（補助金の交付）を実施しているが、令和4年度の実績は0事業所であった。令和5年度は8事業所が基盤強化実施の意向を示しており、要件に合う事業所への支援を引き続き行う。	◎	有
病院と在宅との連携強化研修会	研修会参加後に「在宅医療へのイメージや考え方に変化があった」と回答した病院職員の割合	70 %	—	70	—	70	新型コロナウイルス感染症のまん延に伴い、令和3年度より実施を見合わせており、令和4年度も開催は困難であった。感染状況や病院の状況を見ながら今後の実施に向けて検討予定。病院と在宅との連携という部分では、市内病院地域連携担当者連絡会議（MSW会議）をオンラインにて1回/年実施し、病院と在宅の双方において、新型コロナウイルス感染症流行禍での入退院時連携について課題を共有し、切れ目のない支援を行うための解決策の提案を行った。また、令和元年度から3年度まで開催を中止していた病院連絡会議をオンラインにより再開した。	△	有
看取り体制構築に対する支援	看取りを行う施設数	17 件	変化なし	増加	19	増加	看取り体制構築に向けた取り組みを実施。 ○令和2年度から3か年で高齢者施設での看取り体制をヒアリング調査にて実施 令和2年度：特別養護老人ホーム 令和3年度：特定施設入所者生活介護、認知症対応型共同生活介護 令和4年度：サービス付き高齢者向け住宅 ○施設看護師ネットワークづくり 令和2年度調査の際に、施設看護師間の連携を求める声が多くあり、令和3年度の施設看護師のネットワーク構築に向けて研修会を実施。令和4年度も1回/年実施。令和5年度は2回/年実施予定。	○	有

【主な取り組み】 地域住民への普及啓発

事業名	指標					令和4年度の取組状況、令和5年度の取組予定 等	令和4年度の評価	コロナの影響	
	項目	基準値	令和3年度	令和4年度					令和5年度
			実績	指標	実績				指標
在宅医療啓発事業	通院が困難になった場合に、在宅医療を利用できると知っている市民の割合	70 %	66.8	73	69.7	75	○	有	

【主な取り組み】 地域医療拠点（柏地域医療連携センター）の運営

事業名	指標					令和4年度の取組状況、令和5年度の取組予定 等	令和4年度の評価	コロナの影響	
	項目	基準値	令和3年度	令和4年度					令和5年度
			実績	指標	実績				指標
在宅医療相談	相談を解決した割合	98 %	100	100	100	100	○	有	

【政策目標】 意思が尊重され自立して暮らせる

【重点施策】 地域包括支援センターの機能強化

重点施策名	項目	基準値	指標			
			令和3年度	令和4年度		令和5年度
			実績	指標	実績	指標
地域包括支援センターの機能強化	【アウトカム】地域包括支援センターの相談や問い合わせへの対応満足度	77 %	82	79	集計中	80

5月下旬にまとめ、7/14開催予定の運営協議会の承認を経て決定する予定

【主な取り組み】 総合相談支援機能の充実

事業名	項目	基準値	指標				令和4年度の実績状況、令和5年度の実績予定等	令和4年度の評価	コロナの影響
			令和3年度	令和4年度		令和5年度			
			実績	指標	実績	指標			
介護予防・生活支援サービス事業（介護予防ケアマネジメント）	要支援者等のケアプランへ多様な社会資源の活用を位置づけている割合	21 %	27.6	27	43.1	30	地域包括支援センター主任介護支援専門員との連携会議及び介護予防個別会議の中で、インフォーマルサービスの活用を働きかけた。このほか、センターが地域の居宅介護支援事業所に向け研修や事例検討会を開催し、多様な社会資源の紹介やケアプランチェックリストの活用を促すことで、適切なサービス提供による自立支援・重度化防止を目指した介護予防ケアマネジメントに取り組んだ。引き続き令和5年度も、地域包括支援センター主任介護支援専門員との連携会議や介護予防個別会議を実施し、センターや地域の介護支援専門員に対し、自立支援に資するケアマネジメントについて働きかけていく。	◎	有
総合相談支援業務	相談件数	17,614 件	14,655	18,500	15,504	19,000	新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けていた令和3年度と比較し相談数は増加しているが、指標を下回る結果となった。今後も、リーフレットやホームページを活用するとともに、民生委員等、地域関係団体との連携を図り、引き続き地域包括支援センターの周知に努める。	○	

【主な取り組み】 地域包括支援センターの活動評価

事業名	項目	基準値	指標				令和4年度の実績状況、令和5年度の実績予定等	令和4年度の評価	コロナの影響
			令和3年度	令和4年度		令和5年度			
			実績	指標	実績	指標			
地域包括支援センター事業評価の実施	事業評価の実施	実施 -	実施	実施	実施	実施	地域包括支援センターによる自己評価や行政評価、利用者や関係機関へのアンケートによる評価を実施したところ、全国平均を上回る結果であった。令和5年度も評価を行い、PDCAを通じた機能強化を図る。	◎	

【主な取り組み】 地域包括支援センターの適正配置

事業名	項目	基準値	指標				令和4年度の実績状況、令和5年度の実績予定等	令和4年度の評価	コロナの影響
			令和3年度	令和4年度		令和5年度			
			実績	指標	実績	指標			
地域包括支援センターの適正配置	地域包括支援センター常勤職員数	71 人	71	75	74	77	国が定める職員配置基準の目安を用いて職員の配置方針を決定しているが、令和4年度は年度中に生じた欠員の補充を受託法人に促したものの補充には至らず、指標は達成できなかった。令和5年度においても、引き続き、受託法人に対して欠員の補充を促していく。	○	

【政策目標】 意思が尊重され自立して暮らせる

【重点施策】 権利擁護の充実

重点施策名	項目	基準値	指標			
			令和3年度	令和4年度		令和5年度
			実績	指標	実績	指標
権利擁護の充実	【アウトカム】身近な相談相手や相談場所がある人の割合	94.3 %	—	95	94.5	—

【主な取り組み】 高齢者虐待防止の相談支援

事業名	項目	基準値	指標				令和4年度の取組状況, 令和5年度の取組予定 等	令和4年度の評価	コロナの影響
			令和3年度	令和4年度		令和5年度			
			実績	指標	実績	指標			
(仮称) 柏市権利擁護ネットワーク高齢者部会運営会議の開催	(仮称) 柏市権利擁護ネットワーク高齢者部会の構成団体等	機関・団体 39	39	39	39	39	障害者, 高齢者等の既存会議を統合し, 新たに全体会として柏市権利擁護ネットワーク会議を設置し, その下部組織として高齢者部会を設置した。令和4年度の開催時には, 地域包括支援センターや介護サービス事業所に加え, 医師会や警察等, 幅広い分野の委員の出席によりネットワークの構築に向けた意見交換を行った。令和5年度においても, 引き続き実施する。	◎	
地域包括支援センターでの相談・対応	高齢者虐待対応の終結割合	50 %	93	55	71	55	令和3年度に引き続き, 虐待通報を受けた後には迅速にコア会議を開催し, 市と地域包括支援センターの連携のもとで, 支援方針や役割分担等, 効率的かつ効果的な支援を目指した。その成果が反映され, 令和4年度も指標を上回る終結割合となった。依然として認知症高齢者等の増加に伴う虐待事例の増加の影響がうかがえる。令和5年度においても, 地域包括支援センターとの連携により適切な支援を行うと共に, 事例の増加に対応していきけるよう取り組んでいく。	◎	有
高齢者緊急一時保護事業	高齢者緊急一時保護件数	17 件	16	10	7	10	認知症等, やむを得ない事由がある事案に対し, 対象となる高齢者の緊急一時保護を行った。令和4年度は, 地域包括支援センターや介護サービス事業所等の各機関との連携を強化し, 早期発見・早期対応に取り組んだ。その結果, 適正な支援により介護保険サービスの利用につなげることで, 昨年度の件数よりも大きく減少できた。令和5年度においても適切な支援に努める。	◎	有

【主な取り組み】 成年後見制度の普及啓発

事業名	項目	基準値	指標				令和4年度の取組状況, 令和5年度の取組予定 等	令和4年度の評価	コロナの影響
			令和3年度	令和4年度		令和5年度			
			実績	指標	実績	指標			
成年後見制度に関する相談	成年後見に関する相談件数	249 件	489	280	494	290	市内の各地区の一次相談機関である地域包括支援センターと, 成年後見制度に係る中核機関である社会福祉協議会が連携し, 利用者に対する制度説明や申し立て事務に対する積極的な支援を行った。この結果, 相談件数が増加した。令和5年度においても双方の連携により成年後見制度の利用促進に向けた周知啓発を行う。	◎	
市民後見人の育成, 活動支援	市民後見人の受任件数	7 件	12	9	15	10	平成29年度から令和4年度末までに, 11名の市民後見人が裁判所から選任されており, その間延べ15件の後見業務を受任している。令和5年度も身上監護等が安定している事案を中心に市民後見人への受任が進められるよう, 社会福祉協議会と連携し育成支援する。	◎	
成年後見制度利用促進のための中核機関の設置	後見人等候補者調整会議の取扱件数 (高齢者)	27 件	13	30	18	30	本人による申し立てが可能である事案について, 地域包括支援センターが伴走支援をすることで, 候補者調整会議を活用することなく, 申し立てがなされた。令和5年度においても, 地域包括支援センターとの連携により, 適正な申し立てに努める。	○	

【主な取り組み】 振り込め詐欺や消費者トラブルの未然防止

事業名	指標					令和4年度の実績	令和5年度の取組状況、令和5年度の取組予定 等	令和4年度の評価	コロナの影響	
	項目	基準値	令和3年度	令和4年度						令和5年度
			実績	指標	実績					指標
振り込め詐欺や消費者トラブルの未然防止	防犯講習会実施回数	44 回	8	50	28	50	新型コロナウイルスの影響はあったものの、令和3年度より大幅に回数を増やすことができた。令和5年度はさらに町会・自治会などに積極的に講習会を実施していくよう、啓発強化を図っていく。	△	有	
	60歳以上の高齢者からの消費生活相談件数	1,450 件	1,379	1,450	1,565	1,450	令和4年度の60歳以上の高齢者からの相談件数は1,565件で、令和3年度（1,379件）に比べ186件、13.5%の増加であり、総相談件数の約4割を占めている。引き続き消費生活相談業務の中で、消費者トラブルの解決、未然防止のための助言を行うとともに、消費者トラブルを未然に防止するため、地域の多様な高齢者見守りネットワーク団体（消費生活コーディネーター及び地域包括支援センター、民生児童委員、ふるさと協議会等）への情報提供等、連携を継続しながら、啓発強化を図っていく。	◎	有	

【政策目標】 意思が尊重され自立して暮らせる

【重点施策】 多様な主体との地域づくりの推進

重点施策名	項目	基準値	指標			
			令和3年度	令和4年度		令和5年度
			実績	指標	実績	指標
多様な主体との地域づくりの推進	【アウトカム】住んでいる地域に愛着があると答えた人の割合（再掲）	79 %	—	80	78.9	—

【主な取り組み】 超高齢社会のまちづくりモデル

事業名	項目	基準値	指標				令和4年度の実績状況、令和5年度の実績予定 等	令和4年度の評価	コロナの影響
			令和3年度	令和4年度		令和5年度			
			実績	指標	実績	指標			
産官学で取り組む先進的なまちづくり	—	—	—	—	—	—	○		

【主な取り組み】 関係団体等との連携体制の整備

事業名	項目	基準値	指標				令和4年度の実績状況、令和5年度の実績予定 等	令和4年度の評価	コロナの影響
			令和3年度	令和4年度		令和5年度			
			実績	指標	実績	指標			
生活支援体制を整備するための、多様な組織との連携	支えあい会議の開催数	34 回	21	20～40	22	20～40	○	有	
地域共生社会の実現	地域いきいきセンターの設置か所数（再掲）	6 か所	8	9	9	10	○		

【主な取り組み】 都市・交通政策部門との連携

事業名	項目	基準値	指標				令和4年度の実績状況、令和5年度の実績予定 等	令和4年度の評価	コロナの影響
			令和3年度	令和4年度		令和5年度			
			実績	指標	実績	指標			
住まいの確保や住まいの選択を支援する体制整備	高齢者人口に対する高齢者向け住宅等の供給割合	3 %	3.5	3	3.6	3	○		
高齢者の外出や社会参加を促進するためのまちづくり	ノンステップバスの導入率	87 %	88	90	88.2	90	○		